



「伊奈銅鐸里帰り展」のようす

前芝校区は豊橋の西端、豊橋駅から約6km北西に位置しています。西は三河湾に面し、北部は豊川市や小坂井町に接するこの校区は、2千年ほど前の縄文時代後期まで遠浅の海でした。

豊川の河岸段丘の線に沿って菟足神社貝塚、平井稻荷山貝塚、日色野遺跡などの遺跡が点在し、その台地の先端に前芝中学校があります。大正13年、現在の中学校の敷地から弥生時代の銅鐸が3個発見されました。「伊奈銅鐸」と

呼ばれるこの銅鐸は、銅鐸が大型化していく過程を示す貴重なもので、現在は東京国立博物館に保管されています。平成19年10月に校区自治会主催で前芝地区市民館を会場に「伊奈銅鐸里帰り展」を開催し、このときだけ銅鐸の里帰りが実現しました。

展示会のとぎだけでなく、校区が一体となって何かを行うことを大

銅鐸の里帰り

切にしており、毎年「笑顔・ふれあい・おもいやり」をテーマに「校区ふれあい夏祭り」を開催しています。校区健全育成会やPTA、老人クラブなどの協力で毎年趣向を凝らしています。

今後も校区住民の連帯感や連携を強くすることを目指して、活動を盛り上げていきたいと思えます。

情報提供 前芝校区自治会

牟呂校区

みんなで取り組む牟呂用水清流化運動

牟呂校区は豊橋市の西部に位置し、校区内には港に面した広い神野新田があります。最近開発が進み人口の増加が著しい校区で、新しく引越してきた住民にどうやって地域の活動に参加してもらうかが自治会の課題です。

そこでコミュニケーション活動の一環として自治会が中心になって環境浄化運動を進めています。その活動

あのまち

このまち

の主なものは各町内の530運動や公園の清掃活動、花いっぱい運動などで、それぞれ盛んに行われています。

中でも中学生が中心になって行われる「牟呂用水清流化運動」では、牟呂中学校の生徒全員をはじめ、牟呂・汐田小学校の児童やPTA、校区の各種団体など、みんな気軽に参加して牟呂用水の清掃活動を

行っています。校区の中心を流れるシンボリックな存在「牟呂用水」をみんなで清掃してきれいにすることは環境面だけでなく精神面にも良い影響を与えています。

住みよい町づくりには地域住民の協力が不可欠です。昔から住んでいる方だけでなく、新しく引越してきた方に参加してもらい、地域住民が一体となって校区の環境美化、安心・安全な町づくりを進めていきたいと考えています。

情報提供 牟呂校区自治会

前芝校区

各校区からいただいた情報を掲載しています



楽しみながら牟呂用水をきれいに

市民病院コーナー

骨粗しょう症の治療中は
歯科疾患に要注意



高齢化社会の進展に伴って増えてきた骨粗しょう症とは、若いころに比べ骨の密度が低下する病気で、

骨粗しょう症の治療薬はいろいろありますが、そのなかにビスフォスフォネートという系統の薬があります。この薬は長い間作用して骨からのカルシウム吸収を抑える事ができ、骨量減少の改善に大変有用で安全な薬です。しかし、悪い歯を放置したままこの薬を服用し続けると、まれに歯の周りの骨が腐ってくる恐れがあるのです。

そこで骨粗しょう症の治療を受ける際には主治医に相談の上、かかりつけの歯医者さんでしっかり歯の治療を完了してください。よい歯でよく噛みおいしく食事することも骨粗しょう症の予防につながります。

(歯科口腔外科第二部長 嘉悦淳男)
※市民病院コーナーは今回で終了します

わがまち元気印！

〜サークル編〜

―お便りいただきました―

まちのこえ

笑顔を世界中の子どもたちに届けたい

私たちは、もともと開発途上国の子どもたちを支援する里親になっていたことが縁でつながり、情報交換をしていました。平成17年に、より幅広い活動をするためにボランティアグループスマイルを作りしました。私たちは、開発途上国の子どもに教育や医療の援助災害への支援などをするために、毎月第2日曜日に福岡校区市民館で会合をし、年に一度イベントを実施しています。そして、収益金をタルニー奨学金(アメリカ)などに寄附してきています。

今年、津軽三味線をロックと融合させた津軽三味線奏者山口晃司とそのバンド「Aktkadenza」二胡奏者未華のコンサートを行います。コンサートや活動に興味を持った方は連絡をください。

■世界の子どもたちへの教育・医療募金コンサート

とき 4月12日(日)午後1時 **ところ** ライフポートとよはしコンサートホール(神野ふ頭町) **入場料** 2千円(中・高校生は1千円、小学生以下は無料) **問合せ先** ボランティアグループスマイル 金子(☎0800・33397・8377)



会合のようす



里親をしている子どもからの手紙

生活の中で伝統文化に触れる機会を作りたい

私の子ども頃の豊橋は魚町に能楽堂があり、身近なところに伝統芸能を学べる場所がありました。祭りともなれば笛や太鼓で子どもから大人まで楽しんでいました。しかし、現在では伝統文化を学ぶ機会がほとんどなくなっています。子どもたちが創造性豊かな心を持ち、伝統文化が残るこのまちに住んでいる事を誇りに感じるように、3年前に市民文化会館で能楽のワークショップを始めました。

ワークショップ終了後も継続して学びたいという希望者が多く、上伝馬町の西村能舞台で月2回「能楽こども教室」を開いています。現在では3歳〜中学1年生の30人が、東海能楽研究会代表の寛鋺一先生のご指導のもと、謡や太鼓・笛などを楽しみながらお稽古をしています。能楽は、難しいことは一切なく興味さえあれば誰でも気軽にできます。なかなか体験できない能楽に子どもを触れさせて郷土の伝統文化を学ばせてみませんか。

■豊橋能楽こども教室(毎月2回開催)

とき 3月21日、4月11日・25日の土曜日午前10時※日時変更の場合あり **ところ** 西村能舞台(上伝馬町) **参加料** 無料 **問合せ先** 朝川(☎54・7732)

市民のひろば

■情報提供

ボランティアグループ スマイル 金子知世さん

■情報提供

東海能楽研究会 朝川知勇さん

●このコーナーに、あなたのご意見・情報をお寄せください●

見どころ、イベント、ちょっとした話など身近な話題をお寄せください。※住所・氏名・電話番号を明記してください 広報聴課(〒440-8501住所不要 ☎56・5711 ㊚ kohokocho@city.toyohashi.lg.jp)

豊橋市内の1月の交通事故(人身)

[] は昨年同月、() は今年の合計

- 件数 253件 [268件] (253件)
- 死者 0人 [3人] (0人)
- 傷者 309人 [326人] (309人)

豊橋市の人口と世帯

(平成21年2月1日現在)

- 人口 385,347人(前月比131人減)
[男193,001人/女192,346人]
- 世帯 148,854世帯(前月比49世帯減)
※このうち外国人は20,040人/11,626世帯

編集後記

花火でつながる町のきずな

知るほど豊橋その4「手筒花火を揚げる町に住む」を発行します。取材をおして、町の衆に混じり手筒花火を揚げる中で、町のつながりの良さを感じました。(大橋)